人工衛星GeoEye-1がとらえた「福岡県博多区周辺」

データ提供：日本スペースイメージング株式会社
データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前号から人工衛星GeoEye-1から見た「国土の姿」を紹介しています。下図はGeoEye-1がとらえた福岡県博多区周辺のトゥルーカラー合成画像（Pan-sharpened image：地上分解能0.5m）です。これは、パンクロマチック画像(地上分解能0.5m)とマルチスペクトル画像（地上分解能2.0m）を合成した画像です。下図右側には、「福岡空港国際線ターミナル周辺」と「御笠川浄化センター周辺」を切り出して拡大してみました。福岡空港国際線ターミナルの屋根の模様や色彩、御笠川浄化センター内の施設の形、大きさ等、判読の視野を広げてみてください。社会基盤を支える各種施設の周辺環境の監視・分析、維持・管理支援情報の一つとして、高分解能衛星データの利用範囲は益々広がりつつあります。